

《平成30年度 金沢工業会》 理事会・評議員会および全国総会を金沢大学にて開催

平成30年6月16日（土）に、金沢大学自然科学本館大講義棟 AV 講義室にて金沢工業会理事会・評議員会、並びに全国総会が開催されました。今年度は全国総会を金沢大学で開催するため、理事会と評議員会は合同開催となり、会長、副会長、理事長、監事、理事21名、評議員70名を含めた計95名の出席のもと13時から15時までで開催され、引き続き15時30分～16時まで全国総会が開催されました。

（1）理事・評議員会

理事・評議員会は加納重義会長（工化昭50）の挨拶ならびに千木昌人理事長（工化昭53）の挨拶で始まり、引き続き協議に移りました（写真1、2）。多田幸生庶務理事（機械昭58）から平成29年度の事業報告が、五十嵐心一会計理事（土木昭57）から会計報告が、深見哲男監事（電気昭53）から監査報告がありました。平成29年度の会計報告では、会費収入が若干減少した他は、ほぼ予算案どおりの執行状況であることが報告されました。協議の結果、事業報告と会計報告が承認されました。

続いて、平成30年度の事業計画と予算案の協議が行われました。まず、千木理事長から2018・2019年度の金沢工業会会長候補者の公募状況の報告があり、協議の結果、加納重義会長（工化昭50）が再任されました。また、会則により会長依嘱となる副会長には、森本章治自然科学研究科長（電子昭54）が選出され、承認されました。次に、平成30年度の事業計画について、千木理事長ならびに多田庶務理事から説明がなされました。（1）平成30年度の名簿発行については、個人情報保護法により厳格な名簿の管理が求められていること、会員名簿を利用した会員による個人攻撃（電話や自宅訪問など）の事例が発生したこと、前回の名簿発行事業は約34万円の赤字で4年間の販売実績が280冊にとどまっていること、「記載事項省略」を選択する卒業生が増え、名簿としての機能が低下していること、などの理由から平成30年度は名簿を発行しない方針が提案されました。これに対して、人と人のつながり、異種企業間の繋がりがなくなってしまうことを懸念する意見が出されました。協議の結果、平成30年度については名簿発行を見送り、それ以降については継続審議になりました。あわせて、平成30年度も同窓会等で必要な場合には、必要範囲の名簿情報を事務局に「会員情報利用申請書」で申請していただく方法をとることが説明され、了承されました。

次に、（2）4月から理工学域が6学類から7学類に改組したこと、理工3学類一括入試と理系後期一括入試の2つの新しい入試制度が導入されたことなど、理工学域の近況報告がなされました。これに伴い、準会員（学内の学生）への移行学年を変更することが報告されました。（3）卒業生との連絡手段については、郵便料金の値上げや通信手段の多様化を踏まえて、昨年度から卒業時における学生の個人用電子メールアドレスの収集を行っており、今年度もこれを継続すること、また、各支部総会の会員向け開催案内に電子メールの活用を一層推進する方針が説明されました。これに伴う支部への通信補助額の見直しについては、支部長・代表理事合同会議等において今後協議していくことが説明されました。（4）明るいニュースとして、山田外史氏（電気昭47）を中心とする会員のご尽力により、公立小松大学分会が設立されたことが報告されました。続いて、平成30年度の予算案の提案があり、会費収入の減少傾向は依然と続いていることから、事業計画を縮減しない程度に、かつ、節減可能な支出をできるだけ抑えた予算案になっているとの説明がなされました。協議の結果、平成30年度の事業計画案と予算案が承認されました。

金沢大学工学部（現理工学域）の100周年記念行事の準備状況についても報告があり、

会誌4月号に「工学部創立100周年記念事業と募金へのご協力をお願い」の記事を掲載したことが説明されました。また、自然科学研究科長の森本新副会長から、工学部100周年記念誌の進捗状況の補足説明がありました。最後に自由な意見交換に移り、会費納入率について平成10年の会費納入率が低く、平成14, 18年度は高くなっているのもその理由を調査してはどうか、学生の表彰制度（金沢工業会賞）は良い試みであるなどの意見が出され、今後の活動に反映していくことになりました。すべての議事が終了した後、工学系の6つの学生サークル活動への補助金贈呈式が行われ、贈呈後、代表者一人一人から各団体の活動状況の紹介があり、これまで同様に大切に活用したい旨の謝意があった(写真3)。

(2) 全国総会

15時30分から全国総会が開催されました(写真4)。全国総会では、加納重義会長、千木昌人理事長の挨拶の後、理事会・評議会と同じ議題で順次協議が行われました。会場からは、一般会員向けのメールマガジンの発行を希望する意見が出され、今後の検討事項とすることになりました。特別講演会では、九谷光仙窯代表の利岡光一郎氏から、「焼き物屋の五代目から見た九谷焼」と題する講演をいただきました。九谷焼の美への探究とその奥深さの一旦を垣間見ることができるとご講演内容であり、講演後、焼き物に関する様々な質問がなされ、地域の伝統工芸に関する理解を深める良い機会となりました(写真5)。

総会と特別講演の後、場所を自然科学系図書館棟の生協食堂に移し、懇親会が開催されました(写真6、7)。金沢大学理工学域の近況を交えた金沢工業会新副会長の森本章治先生のご挨拶と乾杯のご発声がありました。しばし懇親を深め、会員同士の挨拶や情報交換が盛んに行われました。準備したビールが足らなくなり、急遽、追加購入に行くことになりました。最後は、石川支部長の北野浩司氏(機械昭61)のユーモアあふれるご発声中締めとなりました(写真8)。

以上、簡単な報告になりますが、今後とも金沢工業会にご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庶務理事：多田 記

◎理事・評議員会の席上で配付されました資料(29年度事業報告、会計報告、並びに30年度の事業計画と予算案を含む)をWebページに掲載いたしましたので、ご覧ください。ただし、金沢工業会誌(平成30年4月号、No.186)PDF版のパスワードが必要です(パスワードは会誌No.186に掲載してあります)。



写真1 理事・評議員会の様子（千木昌人 理事長の挨拶）



写真2 理事・評議員会の様子



写真3 学生サークル活動への補助金贈呈式



写真4 全国総会の様子



写真5 特別講演（利岡光一郎氏（九谷光仙窯代表））



写真6 懇親会の様子



写真7 懇親会の様子



写真8 懇親会の様子（北野浩司氏（石川支部長）による中締め）